

## 新関西将棋会館整備事業デザインビルド事業者選定プロポーザル 審査講評

新関西将棋会館整備事業デザインビルド事業者選定プロポーザル審査委員会  
委員長 谷川浩司

令和6年(2024年)に創立100周年を迎える日本将棋連盟(以下「連盟」という)は、この記念すべき年に東西将棋会館を建設する事業に取り組んでおり、その一環として、関西将棋会館の歴史を継承し、将棋文化のさらなる普及・発展を目指して、新関西将棋会館(以下「新会館」という)の移転・建替を推進しています。本事業については、事業期間の短縮、工事の品質の向上、事業費の削減などの効率的で合理的な設計・施工を実現するために、「設計・施工一括発注方式(デザインビルド方式)」を採用し、新しい時代を象徴するような新会館をデザインビルド方式により共に創っていくことができるパートナーとなる事業者を広く募るため、公募型プロポーザル方式による事業者選定を実施しました。

連盟では、新会館の整備を、基本計画に掲げた「将棋文化の歴史と伝統を継承し、未来のさらなる発展につなげる」という基本理念、及び次の6つの基本方針に基づいて進めています。このことを踏まえて、プロポーザルの審査にあたっては、技術提案がこれらの基本方針を踏まえたものとなっているか、また事業者がその提案を実現する実行力・技術力を有しているかを総合的に評価しました。

- ① 関西将棋会館の歴史と伝統を引き継ぎ、未来に繋ぐ新会館
- ② 棋士が快適に利用でき、対局に集中できる新会館
- ③ 内外共に将棋を感じられる新会館
- ④ 誰もが気軽に訪れやすい明るくオープンな新会館
- ⑤ 将来に亘って安全・快適に利用でき、サステナブルな新会館
- ⑥ 将棋と木の伝統文化を体現する新会館

本プロポーザルには、計7者の参加があり、いずれの事業者からも将棋に対する熱意が感じられる創造力豊かで魅力的な技術提案を提示していただきました。書面審査による一次審査で上位5者を選定し、その5者を対象としたヒアリングを踏まえて二次審査を実施しました。ヒアリングでは、5者とも意欲的なプレゼンテーションと、誠実で的確な質疑応答を行っていただきました。

二次審査では、事業全体・設計等・施工・その他に関する事項、及びプレゼンテーション・対話能力について、丁寧に議論を重ねながら評価しました。特に、技術提案については、事業用地の周辺環境に配慮し、「棋士が快適に利用でき、対局に集中できる新会館」、「誰もが気軽に訪れやすい明るくオープンな新会館」がいかにも実現されているか、「内外ともに将棋を感じられる新会館」として魅力的な提案となっているか、といった点について、多くの議論が交わされました。その上で事業者選定基準に基づいて、厳正かつ公正な審査を行った結果、「大成建設株式会社関西支店」を優先交渉権者、「淺沼・宇田川・エムエヌエム共同企業体」を次点交渉権者として選定しました。

優先交渉権者となった事業者には、新会館の設計・施工にあたって、長い歴史を持つ将棋文化への共感、高槻のまちの活性化への貢献、地球環境への配慮などの幅広い視点を持ちながら、連盟や多くの将棋ファンの期待が掛かっていることを心に留め、誠心誠意、新会館の実現に向けて取り組んでいただきたいと思います。特に、事業を推進している連盟の意向を最大限尊重しながら、審査講評に記載された意見についても十分配慮し、新会館の完成に向けて尽力されることを望みます。

最後に、短い準備期間にも関わらず、魅力的な提案を含む提案書を作成していただいた全ての事業者に敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。

#### **優先交渉権者：大成建設株式会社 関西支店**

まち・都市のスケールから新会館の在り方を構想した優れた提案です。JR 高槻駅前という喧噪な立地特性を踏まえ、対局室を上層階の守られたボリュームの中に配置することで、前面道路や近接する線路の騒音、隣接する住宅の視線等から守るとともに、周辺の建物のスケールに合わせて分割したボリュームの間に「内なる庭」をつくり、そこからほぼ全ての居室に採光・通風を確保し、随所にリフレッシュ空間を配置しています。一般の来館者が利用する下層階には、エントランス、ギャラリー、将棋道場、多目的ホールを設け、地域に開かれた学びの場を創出しています。両者をつなぐ中間階には、スムーズな運営を担う明るく快適な事務室等を設けています。こうした集中と開放を両立する明快な空間構成により、全ての利用者が安心・快適・柔軟に利用できる環境を実現しています。

上層階の「内なる庭」、2階バルコニーの「まちの縁側」、隣接する公園「関西将棋の森」を縁と緑と風で結び付け、将棋文化で人・まち・自然をつなぐというコンセプトは、機能的にも、象徴的にも多くの審査員の共感を呼びました。また、将棋盤の格子をベースに木と将棋文化の歴史と伝統の積み重ねを年輪・積層する木目で表現した外観は、将棋を感じられるデザインとして評価されました。

二次審査では、模型や動画を用いて提案内容が明確に示されました。木を想起させる外壁仕上げについては、実物サンプルにより耐久性、意匠性、コストの検討結果を示していただきました。また、安全性が高く防音性・遮音性に優れた鉄筋コンクリート造耐震壁付ラーメン架構が採用されていますが、耐震性についても技術的に信頼できることが確認されました。

今後、業務を進めるにあたっては、コストは当初の提案額に納めること、建築計画における利便性や構造計画における安全性の課題を解決すること、エネルギーサービスの導入については再検討することなどが求められますが、連盟と十分な対話を行い、真摯に取り組んでいただきたいと思います。

#### **次点交渉権者：浅沼・宇田川・エムエヌエム共同企業体**

新会館整備の6つの基本方針をしっかりと吟味し、①木の軒裏とレンガ色庇が引き継ぐ関西の伝統、②庇がつくる快適な光・空気・音環境の対局室、③対局のタフさと規律を象徴する盤の目ファサード、④内外をつなぐ庇下のテラス空間、⑤庇によるパッシブデザインとメンテナンス、⑥木の軒裏が反復する木造建築の踏襲を考え、庇が重なる外観を有する将棋会館を提案しています。

日本の木造建築の読み替えによる庇が重なる外観については多くの議論がありましたが、募集価格

内で太陽光発電設備以外の連盟が要望した全ての性能を充足した上で、高い環境性能を実現する精緻に検討された提案であり、加えて現会館の深い理解に基づく空間構成、地球環境への配慮、隣接する公園についてのきめ細やかなデザインなども高く評価されました。

二次審査では、模型と動画により隣接公園・前面道路との一体的な関係性が視覚的に表現されたほか、素材の実物サンプルを多数用意していただき、提案の精度の高さを実感しました。質疑応答においても、具体的かつ誠実に回答いただきました。経済合理性の高い鉄筋コンクリート造で無理のない構造設計がなされ、環境負荷の少ない素材の利用、自然換気を促す引き違い窓、土中環境への配慮など、地球環境を大切にされた優れた提案でした。ただし、JR 高槻駅前という立地に対して、開放的な建物における防音性やプライバシー確保に課題があるとの指摘がありました。

### その他の一次審査通過者について（五十音順）

#### 株式会社奥村組 関西支店

将棋の駒を 20 枚並べた外観をデザインモチーフとした提案であり、前面に配置予定のアルミルーバーは日射遮蔽やプライバシー確保に有効と考えられます。対局環境における歩行振動を抑える工夫や公園における水無瀬神宮への軸線の表現等の将棋の歴史への理解などが評価されました。

二次審査では、動画により隣接公園との関係性や内部空間の構成をわかりやすく示していただきましたが、募集価格内に納めるために設備や外装材等の多くが別途扱いとされていること、全般に技術とデザインのコストバランスについての検討が必要であることなどが指摘されました。

#### 東急建設・安井建築設計事務所グループ

無限の可能性が広がる将棋盤をモチーフとしたシンプルで合理的なデザインを展開することで、募集価格の範囲内で必要な性能を全て満足させており、全体としてバランスが良く取れた優れた提案と言えます。和室対局室、椅子対局室についての複数のバリエーションが提案されていること、基本設計期間を長く確保していることなど、連盟の意見に誠実に対応する姿勢を示していただきました。

二次審査では、模型と動画により、将棋盤のモチーフが立面構成だけでなく、内部の空間や意匠、隣接公園のデザインにまで展開されることをビジュアルに表現していただきました。鉄骨造で外壁には ALC パネルを使用することが提案されていますが、将棋盤をモチーフとした外観デザインを実現するための技術的課題、階高と立面におけるパネル分節の関係などについて議論がありました。

#### 株式会社フジタ 大阪支店

鉄骨造の建築の低層部分に別途オプションとして木造部分を魅力提案として付加したハイブリッド構造の提案です。特に、隣接公園の充実したランドスケープデザインの提案が評価されました。

二次審査では、設計での検討プロセスが伝わるユニークなプレゼンテーションにより、提案の意図をわかりやすく示していただきましたが、オプション提案の木造部分が無い場合の評価がしにくいこと、和室対局室への理解、構造計画と平面計画の調整などを懸念する意見がありました。

■ 採点集計表

評価項目		配点	配点内訳	A者	B者	C者	D者	E者
				点数	点数	点数	点数	点数
1. 事業全体に関する事項	(1) 業務実施方針	15点	5	5.00	4.75	3.75	3.00	2.75
	(2) 事業全体の品質・コスト管理計画		5	4.25	3.75	3.25	2.25	2.25
	(3) 工程管理計画		5	4.50	3.75	3.50	3.50	2.50
2. 設計等に関する事項	(1) 関西将棋会館の歴史と伝統を引き継ぎ、未来に繋ぐ新会館の提案	50点	4	3.40	3.20	3.00	2.60	2.00
	(2) 棋士が快適に利用でき、対局に集中できる新会館の提案		10	9.50	6.50	7.00	6.50	7.00
	(3) 内外共に将棋を感じられる新会館の提案		6	5.10	3.00	4.80	3.60	2.70
	(4) 誰もが気軽に訪れやすい明るくオープンな新会館の提案		12	10.80	8.40	9.60	7.20	7.80
	(5) 将来に亘って安全・快適に利用でき、サステナブルな新会館の提案		12	10.20	8.40	6.60	7.20	7.20
	(6) 将棋と木の伝統文化を体現する新会館の提案		6	4.80	5.10	4.50	3.60	3.90
3. 施工に関する事項	(1) 計画地の周辺環境を考慮した仮設・施工計画	15点	5	4.50	3.75	3.75	3.50	3.25
	(2) 施工段階での品質・コスト管理計画		5	4.00	3.75	3.25	2.00	2.50
	(3) リスク管理・維持管理計画		5	4.00	3.75	3.25	3.00	2.50
4. その他の事項	(1) 補助事業活用計画	5点	5	4.00	3.50	3.50	2.75	2.50
	(2) 自由提案							
5. プレゼンテーション・対話能力		10点	10	10.00	8.50	7.50	6.50	5.00
定性的評価点				84.05	70.10	67.25	57.20	53.85

※定性的評価点は95点満点。定量的評価点は全者5点。